

四半期報告書

(第89期第2四半期)

自 平成26年7月1日

至 平成26年9月30日

堺商事株式会社

E 0 2 7 7 2

目 次

頁

第89期第2四半期 四半期報告書

【表紙】

第一部【企業情報】	1
第1【企業の概況】	1
1【主要な経営指標等の推移】	1
2【事業の内容】	2
第2【事業の状況】	3
1【事業等のリスク】	3
2【経営上の重要な契約等】	3
3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】	4
第3【提出会社の状況】	6
1【株式等の状況】	6
2【役員の状況】	8
第4【経理の状況】	9
1【四半期連結財務諸表】	10
2【その他】	17
第二部【提出会社の保証会社等の情報】	18
四半期レビュー報告書	巻末

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	近畿財務局長
【提出日】	平成26年11月7日
【四半期会計期間】	第89期第2四半期（自 平成26年7月1日 至 平成26年9月30日）
【会社名】	堺商事株式会社
【英訳名】	SAKAI TRADING CO., LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 油江 博志
【本店の所在の場所】	大阪府中央区久太郎町2丁目4番11号
【電話番号】	(06)6271-9700（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役経理部長 川原 章
【最寄りの連絡場所】	大阪府中央区久太郎町2丁目4番11号
【電話番号】	(06)6271-9700（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役経理部長 川原 章
【縦覧に供する場所】	堺商事株式会社 東京支店 （東京都品川区大崎1丁目11番2号） 株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第88期 第2四半期連結 累計期間	第89期 第2四半期連結 累計期間	第88期
会計期間	自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日	自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日	自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日
売上高 (千円)	18,490,114	19,040,279	37,734,221
経常利益 (千円)	232,695	243,683	456,059
四半期(当期)純利益 (千円)	139,090	169,199	246,636
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	245,435	87,117	412,323
純資産額 (千円)	6,209,880	6,529,028	6,340,410
総資産額 (千円)	15,422,296	15,967,832	15,827,889
1株当たり四半期 (当期)純利益 (円)	15.34	18.66	27.20
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益 (円)	—	—	—
自己資本比率 (%)	38.8	39.0	38.7
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	△247,209	△42,622	△472,023
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	△522,369	△60,653	△804,322
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	143,728	52,802	45,943
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (千円)	3,408,019	2,784,083	2,858,720

回次	第88期 第2四半期連結 会計期間	第89期 第2四半期連結 会計期間
会計期間	自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日	自 平成26年7月1日 至 平成26年9月30日
1株当たり四半期純利益 (円)	8.17	9.76

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しているため、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営んでいる事業の内容に重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、政府の各種政策や日銀の金融緩和を背景に、企業業績や雇用環境は緩やかながらも回復基調で推移しましたが、一方では、消費税増税による駆け込み需要の反動減や円安進行による原材料価格の上昇等の懸念材料を抱え、景気の先行きは依然として不鮮明な状況が続いております。

当社グループにおきましては、このような状況のもと、積極的な営業活動や販売効率の改善、海外事業戦略の強化に取り組みましたことにより、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高につきましては前第2四半期連結累計期間に比べ増収となりました。利益面におきましては、海外における連結子会社の営業費用の増加等もあり前第2四半期連結累計期間に比べ営業利益は減益となりましたが、営業外収支の改善等もあり前第2四半期連結累計期間に比べ経常利益及び四半期純利益では増益となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、前第2四半期連結累計期間に比べ3.0%増の19,040百万円となり、営業利益は3.5%減の269百万円、経常利益は4.7%増の243百万円、四半期純利益は21.6%増の169百万円となりました。

セグメントの業績は、次の通りであります。

①国内法人

セグメントの「国内法人」には日本国内法人の国内売上と海外売上が計上されており、同海外売上には、東南アジア・中近東・北米・オセアニア等への売が含まれております。当第2四半期連結累計期間については、化成品や電子材料、国内向けの衛生材料や除染・環境改善関連商品の堅調はありましたが、輸出合成樹脂の価格競争の激化や海外子会社への商権の移動等もあり、当第2四半期連結累計期間の売上高は、前第2四半期連結累計期間に比べ、1.0%減の16,964百万円となりました。また、利益率の改善等により営業利益は4.4%増の279百万円となりました。

②在外法人

セグメントの「在外法人」には在外現地法人の売上が計上されており、同売上には、北米・オセアニア・東南アジア等への売が含まれております。当第2四半期連結累計期間については、一昨年設立のタイ子会社の業績安定化と北米市場での販売が好調に推移したこと等により、当第2四半期連結累計期間の売上高は、前第2四半期連結累計期間に比べ、53.5%増の2,075百万円となりました。また、営業損益は同じく一昨年設立のインドネシア子会社の試作費用や減価償却費増加等の影響を受けたことにより14百万円の営業損失となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、前第2四半期連結累計期間に比べ204百万円増加して、△42百万円となりました。増加の主な要因は、売上債権の増加が減少したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、前第2四半期連結累計期間に比べ461百万円増加して、△60百万円となりました。増加の主な要因は、有形固定資産の取得による支出が減少したことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、前第2四半期連結累計期間に比べ90百万円減少して、52百万円となりました。減少の主な要因は、短期借入金の純増加額の減少によるものであります。

以上の要因に加え、現金及び現金同等物は、為替換算の差額により24百万円減少いたしました。

この結果、現金及び現金同等物の当第2四半期連結会計期間末残高は、前連結会計年度末に比べ74百万円減少し、2,784百万円となりました。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた事項はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

(5) 従業員数

当第2四半期連結累計期間において、当社グループの従業員数は、前連結会計年度より21名増加し、149名となっております。

これは主に前連結会計年度に設立したインドネシア共和国の生産拠点において、本格稼働に向けて増員を行ったためであります。

なお、従業員数は就業人員（グループ外から当社グループへの出向者を含む。）であります。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

①【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	40,000,000
計	40,000,000

②【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成26年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成26年11月7日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	10,000,000	10,000,000	東京証券取引所 (市場第二部)	単元株式数1,000株
計	10,000,000	10,000,000	—	—

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成26年7月1日～ 平成26年9月30日	—	10,000,000	—	820,000	—	697,400

(6) 【大株主の状況】

平成26年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合 (%)
堺化学工業株式会社	堺市堺区戎島町5丁2番地	5,800	58.00
ゴールドマン・サックス・インターナショナル (常任代理人 ゴールドマン・サックス 証券株式会社)	東京都港区六本木6丁目10番1号 六本木ヒルズ森タワー	159	1.59
紀和化学工業株式会社	和歌山県和歌山市南田辺丁33番地	115	1.15
日本石材センター株式会社	大阪府東大阪市新家3丁目11番30号	110	1.10
堺商事社員持株会	大阪府中央区久太郎町2丁目4番11号 堺商事(株)内	106	1.06
秀和海運株式会社	東京都港区赤坂3丁目10番2号 赤坂コマースビル	106	1.06
伊藤 宏明	堺市東区	80	0.80
株式会社ジャパンロジスティックス	大阪府中央区備後町1丁目7番10号	80	0.80
河内 秀光	東京都江東区	79	0.79
橋本 象二	大阪府阿倍野区	75	0.75
計	—	6,710	67.10

(注) 上記のほか当社所有の自己株式933千株(9.33%)があります。

(7) 【議決権の状況】

① 【発行済株式】

平成26年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	—	—	—
議決権制限株式(自己株式等)	—	—	—
議決権制限株式(その他)	—	—	—
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 933,000	—	単元株式数1,000株
完全議決権株式(その他)	普通株式 9,055,000	9,055	同上
単元未満株式	普通株式 12,000	—	一単元(1,000株)未満の株式
発行済株式総数	10,000,000	—	—
総株主の議決権	—	9,055	—

② 【自己株式等】

平成26年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 堺商事株式会社	大阪市中央区 久太郎町2丁目4番11号	933,000	—	933,000	9.33
計	—	933,000	—	933,000	9.33

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成26年7月1日から平成26年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成26年4月1日から平成26年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、ひびき監査法人による四半期レビューを受けております。

なお、従来から当社が監査証明を受けている大阪監査法人は、平成26年7月1日付けで、新橋監査法人及びペガサス監査法人と合併し、ひびき監査法人となりました。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,050,720	2,973,035
受取手形及び売掛金	9,396,786	9,560,578
商品及び製品	1,547,511	1,532,847
仕掛品	-	16,487
原材料	25,026	23,615
その他	180,487	248,945
貸倒引当金	△2,178	△1,394
流動資産合計	14,198,353	14,354,115
固定資産		
有形固定資産	1,119,185	1,078,547
無形固定資産	34,861	32,644
投資その他の資産		
その他	506,506	534,038
貸倒引当金	△31,016	△31,513
投資その他の資産合計	475,489	502,525
固定資産合計	1,629,536	1,613,717
資産合計	15,827,889	15,967,832
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,390,353	7,459,469
短期借入金	880,426	884,431
未払法人税等	138,553	108,609
引当金	69,707	66,579
その他	176,895	181,151
流動負債合計	8,655,936	8,700,240
固定負債		
長期借入金	677,507	597,299
引当金	68,144	42,058
その他	85,891	99,203
固定負債合計	831,543	738,562
負債合計	9,487,479	9,438,803
純資産の部		
株主資本		
資本金	820,000	820,000
資本剰余金	697,471	697,471
利益剰余金	4,602,996	4,735,929
自己株式	△189,062	△189,062
株主資本合計	5,931,406	6,064,339
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	90,483	100,821
繰延ヘッジ損益	940	2,969
為替換算調整勘定	102,627	61,412
その他の包括利益累計額合計	194,051	165,202
少数株主持分	214,952	299,486
純資産合計	6,340,410	6,529,028
負債純資産合計	15,827,889	15,967,832

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	18,490,114	19,040,279
売上原価	17,410,924	17,899,861
売上総利益	1,079,190	1,140,417
販売費及び一般管理費	※1 800,192	※1 871,245
営業利益	278,998	269,172
営業外収益		
受取利息	571	3,333
受取配当金	5,667	5,865
作業くず売却益	-	11,422
その他	1,617	1,451
営業外収益合計	7,856	22,072
営業外費用		
支払利息	10,610	14,533
支払保証料	19,726	15,432
売上割引	9,340	10,270
為替差損	13,607	2,657
その他	874	4,667
営業外費用合計	54,159	47,561
経常利益	232,695	243,683
税金等調整前四半期純利益	232,695	243,683
法人税等	108,715	119,049
少数株主損益調整前四半期純利益	123,980	124,634
少数株主損失(△)	△15,110	△44,565
四半期純利益	139,090	169,199

【四半期連結包括利益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	123,980	124,634
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	98	10,337
繰延ヘッジ損益	△9,361	2,028
為替換算調整勘定	130,718	△49,883
その他の包括利益合計	121,454	△37,517
四半期包括利益	245,435	87,117
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	231,527	140,351
少数株主に係る四半期包括利益	13,907	△53,233

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	232,695	243,683
減価償却費	11,878	55,604
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△3,214	△268
引当金の増減額 (△は減少)	△5,727	△29,130
前払年金費用の増減額 (△は増加)	△3,072	—
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	—	△4,955
受取利息及び受取配当金	△6,239	△9,199
支払利息	10,610	14,533
為替差損益 (△は益)	1,228	△1,947
有形固定資産売却損益 (△は益)	△218	△58
有形固定資産廃棄損	—	81
ゴルフ会員権評価損	500	200
売上債権の増減額 (△は増加)	△408,586	△183,390
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△134,186	△9,071
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△6,628	△45,628
仕入債務の増減額 (△は減少)	217,802	88,125
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△12,736	462
その他	△28,569	△24,624
小計	△134,463	94,416
利息及び配当金の受取額	6,452	8,633
利息の支払額	△10,610	△14,533
法人税等の支払額	△108,588	△131,139
営業活動によるキャッシュ・フロー	△247,209	△42,622
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△1,768
有形固定資産の取得による支出	△513,466	△48,903
有形固定資産の売却による収入	702	1,742
無形固定資産の取得による支出	△5,300	△7,034
投資有価証券の取得による支出	△4,192	△4,333
その他	△112	△356
投資活動によるキャッシュ・フロー	△522,369	△60,653
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	180,211	8,322
長期借入金の返済による支出	—	△54,894
少数株主からの払込みによる収入	—	137,767
自己株式の取得による支出	△156	—
配当金の支払額	△36,327	△38,393
財務活動によるキャッシュ・フロー	143,728	52,802
現金及び現金同等物に係る換算差額	93,788	△24,163
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△532,062	△74,636
現金及び現金同等物の期首残高	3,913,787	2,858,720
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	26,294	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	※1 3,408,019	※1 2,784,083

【注記事項】

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(四半期連結貸借対照表関係)

1 輸出割引手形

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
輸出手形割引高	23,844千円	17,485千円

(四半期連結損益計算書関係)

※1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次の通りであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
従業員給与手当	264,106千円	258,464千円
引当金繰入額	69,911千円	73,292千円
退職給付費用	27,207千円	24,540千円
貸倒引当金繰入額	△2,698千円	△268千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

※1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次の通りであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
現金及び預金勘定	3,408,019千円	2,973,035千円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	—	△188,951千円
現金及び現金同等物	3,408,019千円	2,784,083千円

(株主資本等関係)

I 前第2四半期連結累計期間（自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日）

1. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年5月8日 取締役会	普通株式	36,270	4.00	平成25年3月31日	平成25年6月4日	利益剰余金

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年11月1日 取締役会	普通株式	36,268	4.00	平成25年9月30日	平成25年12月3日	利益剰余金

2. 株主資本の金額の著しい変動

当第2四半期連結累計期間における剰余金の配当については、「1. 配当に関する事項」に記載しております。なお、この他に該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間（自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日）

1. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成26年5月7日 取締役会	普通株式	36,266	4.00	平成26年3月31日	平成26年6月4日	利益剰余金

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成26年11月6日 取締役会	普通株式	36,266	4.00	平成26年9月30日	平成26年12月5日	利益剰余金

2. 株主資本の金額の著しい変動

当第2四半期連結累計期間における剰余金の配当については、「1. 配当に関する事項」に記載しております。なお、この他に該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	国内法人	在外法人	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	17,138,025	1,352,089	18,490,114	—	18,490,114
セグメント間の内部 売上高又は振替高	926,954	429,855	1,356,810	△1,356,810	—
計	18,064,979	1,781,945	19,846,924	△1,356,810	18,490,114
セグメント利益又は損失 (△)	267,291	15,442	282,733	△3,735	278,998

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△3,735千円は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

第1四半期連結会計期間において、SAKAI TRADING (THAILAND) CO., LTD. を連結の範囲に含めたこと等により、前連結会計年度の末日に比べ、当第2四半期連結会計期間の報告セグメントの資産の金額は、「在外法人」セグメントにおいて581,523千円増加しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	国内法人	在外法人	合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	16,964,290	2,075,989	19,040,279	—	19,040,279
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,318,107	342,746	1,660,854	△1,660,854	—
計	18,282,397	2,418,735	20,701,133	△1,660,854	19,040,279
セグメント利益又は損失 (△)	279,135	△14,235	264,900	4,272	269,172

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額4,272千円は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下の通りであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
1株当たり四半期純利益	15円34銭	18円66銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益(千円)	139,090	169,199
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益(千円)	139,090	169,199
普通株式の期中平均株式数(株)	9,067,141	9,066,733

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

2【その他】

平成26年11月6日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次の通り決議いたしました。

1. 配当金の総額 36,266千円
2. 1株当たりの金額 4円00銭
3. 支払請求の効力発生日及び支払開始日 平成26年12月5日

(注) 平成26年9月30日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行います。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年11月7日

堺商事株式会社

取締役会 御中

ひびき監査法人

代表社員 公認会計士 道 幸 静 児 ㊞
業務執行社員

代表社員 公認会計士 坂 東 和 宏 ㊞
業務執行社員

業務執行社員 公認会計士 松 本 勝 幸 ㊞

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている堺商事株式会社の平成26年4月1日から平成27年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成26年7月1日から平成26年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成26年4月1日から平成26年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、堺商事株式会社及び連結子会社の平成26年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。



古紙パルプ配合率100%再生紙を使用しています